

大会注意事項

1. 競技運営に関わる諸注意

(1) 開場時刻・競技開始時刻

- 大会 1 日目 8 月 3 日(月) 開場 8:00 第 1 試合開始 13:00
- 大会 2 日目 8 月 4 日(火) 開場 8:00 第 1 試合開始 9:00
- 大会 3 日目 8 月 5 日(水) 開場 8:00 第 1 試合開始 9:00

※ 公開練習は 3 日(月)に行われます。練習日程等については参加チームの希望に基づいて作成し、後日ホームページに掲載しますのでご確認ください。

※ 2 日目、3 日目：南北エントランス、地下鉄連絡通路は 7:45 開放。

(2) 登録メンバー及び引率者の変更

- ① 選手・監督・コーチ・マネージャー、引率責任者の登録は、プログラム記載の通りとします。万が一変更がある場合は、「登録メンバー変更用紙」に必要事項を記入して、8 月 3 日(月)の代表者会議の受付時に提出してください。代表者会議終了後の変更はできません。
- ② 引率責任者(1 名)については、変更を認めます。エントリーした引率責任者から変更となる場合は、当該校の校長または教員に限り、ベンチ入りを認めます。変更する際は、コート主任へ申し出てください。

(3) チームスタッフの ID の配布

- ① チームスタッフ(引率責任者・コーチ・アシスタントコーチ・マネージャー・トレーナー)には、代表者会議で、「スタッフ証」を登録人数分配布します。アリーナへの出入りの際に必要となりますので、紛失や貸し借りのないようにしてください。
- ② トレーナーを帯同するチームについては、事前に申請書を郵送するか、代表者会議受付の際に申請書を提出してください。申請書の提出があったチームには「スタッフ証」を配布します。アリーナへの出入りの際に必要となりますので、紛失や貸し借りのないようにしてください。
※ 各チームでピンク地に「T」(黒字)のイニシャルが入ったビブスを作成し着用してください。
※ チームトレーナー申請書は、北海道バスケットボール協会の U15 のページからダウンロードすることができます。

(4) 選手・スタッフ・観戦者の入場

- ① 選手・スタッフ…引率責任者 1 名、コーチ 1 名、アシスタントコーチ 1 名、マネージャー 1 名、選手 15 名
- ② 観戦者…アリーナでの応援はできません。スタンドの応援席をご利用ください。前の試合が終わり次第、入れ替わるようお願いします。
※ 男女決勝戦はメインコートで行います。応援選手及びチーム関係者はアリーナで応援できます。

(5) 試合

① ウォーミングアップについて

(ア) 北ガスアリーナ

B コートと 3 階のランニングコースを利用してください。割り当ては別紙会場図を参照してください。*ランニングコースでのボールの使用はできません。

(イ) 北海きたえーる

地下のサブアリーナと 2 階のランニングコースを利用してください。割り当ては別紙会場図を参照してください。*ランニングコースでのボールの使用はできません。

- ② 前試合のハーフタイムと試合開始前のコートを使ったアップは、前半攻撃する側(自チームベンチ前)を利用してアップしてください。(第 1 試合においても同様に行ってください)

- ③ プログラム記載の試合開始時刻を原則としますが、試合進行が遅れている場合は、前の試合終了 10 分後を試合開始時刻とします。
- ④ 登録メンバー以外の部員は、スタンド観客席に座って応援するようにしてください。
- ⑤ コーチ(実際にゲームを指揮する方)は、試合開始 5 分前までに最初に出場する 5 人のプレイヤー及びキャプテンをスコアに記入し、サインしてください。
- ⑥ チームスタッフは ID カードを必ず身につけてください。また、スラックス等を着用し、ハーフパンツ等でのベンチ入りはご遠慮ください。
- ⑦ 試合前後の保護者席への挨拶は、進行の妨げになるので禁止とします。
- ⑧ タイムアウトは、スコアラーが確認できるよう、定められたシグナルを明確に示して請求してください。
- ⑨ 選手の交代は、交代要員自身がすぐにプレイできる用意をして、スコアラーにはっきりと伝わるように申し出てください。
- ⑩ 競技規則は要項の通りとします。その他詳細は、代表者会議での確認事項の通りとします。

(6) **フロアでの飲料補給**

- ① ベンチに入るスタッフ・選手は、水筒またはスクイーズボトルをご使用ください。ペットボトルをそのままアリーナへ持ちこむことはご遠慮ください。
- ② フロアを濡らしてしまった場合は、各チームで責任をもって処理してください。

(7) **応援**

- ① スタンド観客席では、メガホン及びスティックバルーンでの応援を可とします。ただし太鼓などの鳴り物は禁止とします。身を乗り出しての応援は危険ですので控えてください。
- ② 選手席(ベンチ)では、控え選手は座って応援してください。
- ③ チーム旗を掲げる場合は、他の観客の視界を妨げず、出入口や本部席等にかからぬように配慮してください。
- ④ フラッシュによる写真撮影は、選手のプレイの妨げになることがありますので、ご遠慮ください。

(8) **表彰および決勝アナウンス**

- ① 全試合終了後に表彰式を行います。
- ② 決勝のアナウンスについて
 - (ア) 決勝戦開始の前に、選手紹介があります。最初に出場する 5 人は、ベンチの端から番号順に座ってください。
レフリー → マンツーマン・コミッショナー → TO → チーム紹介
<チーム紹介> 引率責任者→コーチ→アシスタントコーチ→マネージャー
→選手(最初に出場する 5 人)
 - (イ) 名前を呼ばれて返事をしたら、その場で起立・一礼をお願いします。
 - (ウ) 一礼後そのままコートに入ってください。
 - (エ) 紹介が終わったら、そのまま試合を開始します。

(9) **全国大会への参加申込**

- ① 全道大会最終日、全国大会出場が決定したチームは、準決勝終了後に申込書を提出してください。全国大会への出場が決定した場合に備え、事前に全国大会ホームページに掲載されている申込書への職印の押印や、各種写真の準備等を済ませておいてください。

(10) **その他**

- ① 大会結果に関する電話でのお問い合わせには対応いたしかねます。結果については、北海道バスケットボール協会のホームページを利用してください。(Facebook でも速報を配信しています。)
- ② 試合球は、中体連事務局が用意した「男子：モルテン」「女子：ミカサ」のボールを使用します。

2. 会場使用に関わる注意事項

(1) 館内利用全般

① 館内の履物について

(ア) 北ガスアリーナ

館内（廊下・ロビー・トイレ等）は外履きです。アリーナのみ上靴となりますので、その都度履き替えてください。

(イ) 北海きたえーる

アリーナでは上靴を使用してください。一度上履きに履き替えた後は、館内を上履きのまま移動できます。

② 外靴は袋に入れて各自で管理してください。

③ 館内の他施設を利用する方もいらっしゃるの、マナーを守って使用してください。

④ 会場内のコンセントは一切使用禁止です。ビデオやスマートフォンの充電などはご遠慮ください。

(2) ゴミ・弁当がらの処理

① ゴミは全て持ち帰りです。使用した座席にゴミが落ちていないことを確認してから退館してください。

② 弁当がらは、注文した業者が取りに来るなどの手配を各チームの責任において行い、会場に残しておくことのないようにしてください。場合によっては各チームに連絡し、取りに来ていただきます。

(3) 観客席、応援席

① スタンド観客席は「立ち見禁止」です。座ってご観戦ください。

② スタンド観客席での飲食は可能です。

③ 選手席については、割り当てをするので、指定されたエリアを使用してください。

④ 登録外の選手による応援場所は、スタンドのチーム応援席とします。

⑤ 男女決勝戦のみ、登録外の選手及びチーム関係者はアリーナで応援できます。上履きをご持参ください。

(4) 更衣室

① 選手の着替えは、下記の場所で行ってください。

(ア) 北ガスアリーナ（1階）【男子→選手控え室 B】 【女子→選手控え室 A】

(イ) 北海きたえーる（地下）【男子→選手更衣室 1、2】 【女子→選手更衣室 4、5】

(5) 駐車場

① 出場チーム関係者の駐車場はありません。

② バスは駐車できませんので、選手の乗降が終わったら、速やかに退場してください。乗降場所については、別紙【バス乗降場所案内図】を参考にしてください。

③ 駐車場内での事件、事故について当協会は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

(6) その他

① 貴重品については、各チームで管理を徹底してください。貴重品が紛失しても主催者では責任を負わないことをご了承ください。

② 写真業者が各チームの集合写真を撮影します。業者の指示に従い、速やかな移動にご協力ください。スムーズな大会運営にご協力をお願いします。

③ 試合の映像や画像の SNS や動画サイト等への掲載は、肖像権の侵害といったトラブルにつながる恐れがありますので、ご遠慮ください。

④ 各チームで使用した氷については、会場トイレ等には捨てないようにご協力ください。

3. 感染症拡大防止に関わる注意事項

(1) 今後、インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症等の感染拡大によって、国や北海道などから大会開催についての指導・助言があった場合や開催自治体などが当該地域において大会を開催することが難しいと判断した場合は、主催団体において大会の開催の可否について改めて協議します。